

学校業務改善 推進校 実施計画書

学校名 南あわじ市立市小学校

校長名 当 村 雅 美

学級数	9 学級	児童生徒数	2 0 7 名
プロジェクトチームのメンバー構成	校長・教頭・主幹教諭・養護教諭・事務職員・学校教育改革推進委員会メンバー		
1．学校業務改善に係る自校の課題等			
(1)会議の効率化や成績処理等事務の効率化、文章の共有化を推進しているが実質的なノー残業デーの実施はまだまだ不十分であり、積極的に推進しなければならない。			
(2)今年度は、ルールブックの活用を進めなければならない。			
(3)平成 2 2 年度から学校地域連携促進事業にも取り組んでいる。地域との連携の中で「地域人材リスト作り」等をすすめ、容易に支援ボランティアが活用できる環境づくりを進めなければならない。			
2．「学校業務改善実践事例集」等に基づく、課題解決のための取組項目（該当するものに○）			
○	(1) 学校ルールブックの作成		
○	(2) 電子ファイルの共有		
	(3) 児童生徒データベースの作成		
	(4) 出席統計作成ファイルの作成		
	(5) トライやる・ウィーク関連資料の支援ファイルの作成		
○	(6) 校務・業務の効率化や I T 化		
	(7) 学校事務の改善について		
	(8) 研修・会議等の効率化		
○	(9) 学校行事・事業の見直し・廃止について		
	(10) 部活動のあり方について		
○	(11) 外部人材等の活用について		
○	(12) 勤務環境について		
	(13) その他 ()		
3．上記、課題解決のための具体的な取組内容と工夫する点			
(1)会議の効率化や教員の事務負担の軽減につながるさらなる校務の I T 化をさらに進める。 ・指導要録等成績処理の電子媒体化を進める。 ・会議縮減のために掲示板の活用をさらに進める。			
(2)学校ルールブックの活用を図る。 ・学校改革推進委員会で協議し、絶えずルールブックの充実・改善を図る。 ・職員の共通理解を図る。			
(3)外部人材等の活用を進める。 ・地域人材リストの作成を進める。 ・各教科、総合的な学習の時間等に学校支援ボランティアを活用し、教職員が子どもと向き合う時間を確保する。			

上記(1)～(5)は「学校業務改善実践事例集」(6)～(12)は「教職員の勤務時間適正化対策プラン」の項目「学級数」及び「児童生徒数」は、平成 2 3 年 4 月 1 日現在。